

年 組 名前:

問1 こども家庭庁が開設した、熱中症予防の

専用サイト名を教えてください。

.....

問2 次の文章の①から④に当てはまる言葉を、

教えてください。

『熱中症の予防として、子どもは、①が活発で、

汗や尿として出て行く②が多く、③を

起こしやすい体のため、喉が渇く前から

少しずつ水分や④を補給する必要がある』

①..... ②.....

③..... ④.....

問3 どのような症状があると、熱中症に

かかっている危険性があると指摘していますか。

.....

.....

問4 あなたの熱中症対策を書いてください。

.....

.....

こども家庭庁は、子どもの熱中症予防の注意点をまとめた専用サイトを開設した。汗をかく機能が未熟で体温を下げるまでに時間がかかるなど、子どもならではの特徴や行動を十分に把握することが大切と強調。厳しい暑さが続く見込みで、小まめな水分補給のほか、保護者や周囲の大人が顔色や汗の量などに気を配るよう呼びかけて

家庭庁が特徴まとめ 予防へ注意点

「サイトは「みんなで見守り」子どもの熱中症を防ぎましょう!」子どもは、身長が低い地面からの照り返しの影響を強く受けるほか、屋外で遊びに夢中になって異変に気付かないこともある。新陳代謝が活発で、汗や尿として出て行く水分が多く、脱水を起しやすい体のため、喉が渇く前

から少しずつ水分や塩分を補給する必要があり、拭いても汗が出たり、汗を全くかいていなかったりすると「熱中症にかかっている危険性がある」と指摘している。「暑過ぎに公園で遊んでいた汗をかいておらず、顔色が白く、嘔吐した」などの実例も紹介。体の不調を自分の言葉で十分に訴えられないとして、汗や体温、顔色や泣き方など、大人が「異変に敏感になりましょう」と注意を促している。

子ども熱中症 サイトに

(2024年8月12日付 山梨日日新聞 18面)